

<学習活動計画のポイント>

グループワークトレーニング (オリエンテーション～第1次探究活動)

第1次探究活動からの体験に備え、グループでの活動を円滑に進めるためのスキルアップ学習である。話し合いやロールプレイ形式で事前に学習しておく。児童の実態に応じて実施し、すでに様々なことに対応できる場合は行わなくてよいし、体験活動で問題が起きた場合は随時行う。

活動内容	教師の支援・留意点
<ul style="list-style-type: none"> グループ活動の方向性を決める場面を設定し、話し合いの役割分担をする(提案者、賛成派、反対派) みんなの前で1つのグループの話し合いの仕方を見て、改善点を出し合う 各グループで話し合いをしてみる 	<ul style="list-style-type: none"> お互いの言い分をよく聞き、グループのみんなが気持ちよく活動できるように物事を決定していくことを助言する スムーズに話し合いができるように、話し合いの仕方の例示などを用意する
<ul style="list-style-type: none"> 施設や地域の人との接し方、話の仕方、依頼の仕方などを想定し役割分担をしてやってみる 活動場所へ行く途中での不慮の事故(けが人が出た、具合が悪くなった人が出た)などを想定し、対応の仕方をやってみる 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の方にいやな思いをさせない、迷惑にならないという観点を示し、助言する 落ち着いて行動するように助言する

お 試 し タ イ ム

(第1次探究活動～第2回交流活動)

自分に合った課題をなかなか見付けられない児童のための、他の活動を体験してもよい機会である。

活動内容	教師の支援・留意点
<ul style="list-style-type: none"> 自分たちのグループの活動内容を説明し、他のグループの様子を聞きあう グループ内で他の活動を体験してみたい人の人数調整をする 活動してみたいグループに申し込む 実際に試してみたいグループに入って、計画の段階から振り返りまでの活動を行う 自分の課題に合っているかを考え、グループを決定する 	<ul style="list-style-type: none"> 掲示板や朝の会などを使って、事前にどんな活動をするかクラス全体に知らせる カードなどに記入し人数の調整をする <p><適切な課題への支援のポイント></p> <p>なぜやるのか 見通しはあるのか どうやるのか 意義はあるのか 出会いやふれあいがあるのか 感動や喜びはあるのか</p>

喜 び 合 う 会

(最後のまとめ)

活動にかかわった人と一緒に自分たちが行ってきた活動について話し合い、成就感や達成感もてるようにし、次の活動への意欲や自主的、継続的活動につなげていくきっかけになるようにする。地域の人たちには、子どもたちとの活動にかかわって良かったという思いもてるようにする。より打ち解けやすくするために、報告会に、お楽しみ会やパーティー形式の要素を含めることもできる。

活動内容	教師の支援・留意点
<ul style="list-style-type: none"> 交流した方々を招いて、自分たちの成果を報告し合う会を行う 学んだことや得意なことを生かして、自分ができる、人の役に立つ(喜ばれる)活動は何か考える 幼稚園・保育園や地域の方等との自主的、継続的交流 地域のお祭りへの参加 ボランティアイベントへの参加 等 体験活動を振り返り、自分の心、行動の変化に気付く 	<ul style="list-style-type: none"> これまでのグループ活動で取り組んだこと、自分が学んだことを伝えられるように助言する 次年度の交流日程等を相談して決める 地域や関係諸機関(保育園、幼稚園、小学校、社会福祉協議会等)と連携をし、体験活動を推進する上での協力をお願いする ボランティアイベント等への参加を無理のない範囲で促す 成長を認め、さらに「人や地域とのかかわり」を大切にしていこうように声をかける